

ID 氏名	
生年月日	
年齢	性別
科名	病棟

Ramucirumab + PTX療法			
4週毎			
疾患名	胃癌		
T	N	M	Stage

主治医

指導医

(身長 cm・体重 kg) 体表面積 m²

スケジュール HBs抗原 (+ -) HBe抗体 (+ -) HCV抗体 (+ -)

《注射》		Day1	Day8	Day15	Day22	Day28
パクリタキセル	80mg/m ²	↓	↓	↓		
サイラムザ(ラムシルマブ)	8mg/kg	↓				

パクリタキセル

- ・0.22μm以下のインラインフィルターを使用すること。
- ・アルコール過敏症に注意する。
- ・投与開始1時間は過敏反応の有無を頻回を確認する。
- ・初回導入時は心電図モニターを装着する。
- ・壊死性抗がん薬のため血管外漏出に注意すること。

サイラムザ

- ・投与前に血圧を測定する。収縮期≥160 or 拡張期≥100を超える場合は主治医に確認する。
- ・出血傾向、血栓有無を確認する。
- ・0.22μm以下のインラインフィルターを使用すること。

(レジメン)Day1,15

レスタミン(10mg) 5錠点滴開始前に内服			投与ルート
①	生食250ml	DIV	血管確保(20ml/h) メイン
②	デキサート(1.65mg) 4A 生食20ml	IV	側管
③	ファモチジン静注20mg 1A	IV	側管
30分後			
④	サイラムザ()mg 生食250ml	DIV	60分 側管
生食で側管ルート内フラッシュ			
60分後 (2クールまでにInfusion reactionの発現なければ省略可)			
⑤	パクリタキセル()mg 生食250ml	DIV	60分 側管
終了後メインの生食でルート内フラッシュ			

(レジメン)Day8

レスタミン(10mg) 5錠点滴開始前に内服			投与ルート
①	生食250ml	DIV	血管確保(20ml/h) メイン
②	デキサート(1.65mg) 4A 生食20ml	IV	側管
③	ファモチジン静注20mg 1A	IV	側管
30分後			
④	パクリタキセル()mg 生食250ml	DIV	60分 側管
終了後メインの生食でルート内フラッシュ			